

～齋藤工、南海キャンディーズ山里亮太がパラリンピアンと共に審査～ パラスポーツ絵画・作文コンテスト 2017 大賞発表！ 絵画部門受賞作品の新国立競技場(仮囲い)掲出決定

この度、日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、パラスポーツ絵画・作文コンテスト 2017 につきまして、下記の通り各部門の大賞作品、その他入賞作品を決定しました。

本コンテストは、パラスポーツの体験・観戦、イベント参加、国内外のパラアスリートの著書や記事、報道から感じたこと、自身の体験を絵画または作文で表現するというもので、7月19日から9月29までを応募期間として、実施されました。

絵画部門特別審査員として俳優・フィルムメーカーの齋藤工氏、作文部門特別審査員としてお笑い芸人の南海キャンディーズ・山里亮太氏も参加し、パラリンピアンを含む審査委員会での審議の結果、各部門から3(小・中・一般から1作品)作品ずつ計6作品の大賞をはじめ、各賞が決定しました。また、絵画部門受賞作品について、大賞発表日(2017年11月29日)より、2018年3月31日までの期間、“新国立競技場建設現場の仮囲い”へ掲出いたします。作品を、スポーツイベントのシンボルとなる新国立競技場建設現場の仮囲いに掲出することにより、より多くの方々にパラスポーツに関心を持っていただく機会となることを目的としています。

コンテスト概要及び審査結果、及び仮囲い掲出場所につきましては、別紙資料をご参照ください。大賞作品は、本コンテスト公式サイトに11月29日00時より掲載します。

<https://www.parasapo.tokyo/contest/2017sakuhin>

【特別審査員コメント】

絵画部門 齋藤工

エネルギーに溢れた作品が多くかなり皆で迷い審議を重ねました
中でもパラスポだからこそその特性を生かした心躍る作品を選ばせて頂きました
個人的にも貴重な時間でした。

作文部門 南海キャンディーズ・山里亮太

パラスポーツを通して見えるものが分かりやすく、
書いたみんながパラスポーツの楽しさを知ってほしいという気持ちが文字に溢れてました！
読んでるだけで会場に行きたくなるものばかりでした。



大賞 A(小学生部門)「力を合わせて」
佐野萌々子(神奈川県・小4)



【お問い合わせ】日本財団パラリンピックサポートセンター 広報部 本山・遠竹・高木
The Nippon Foundation Paralympic Support Center
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階
TEL: 03-6229-3721 / FAX: 03-6229-3722 / Email: pr@parasapo.tokyo
URL: <http://www.parasapo.tokyo>